

2011 年度 Ai 学会 夏季症例検討会参加報告

2011 年 9 月 3 日(13:30~17:00)駿河台日本大学病院で開催された、第 7 回 Ai 学会夏季症例検討会に参加しました。

参加人数は 50 人程度で放射線科医、病理医、救急科医が参加していました。(例年、法医学医も参加するようですが、今年は同日に法医学の学会があったようで欠席の様子)

症例提示は 6 題で提示形式は基本的に学会発表に準ずるもので、まず放射線科医(あるいは救急科医)から画像所見を含めた症例提示があり、次に病理医から病理所見について解説があり、その後フロアを交えてディスカッションを行う形式でした。雰囲気としては各科との合同カンファレンスを想像するとわかりやすいと思います。

Ai 学会夏季症例検討会のユニークな点の 1 つに、各症例提示の持ち時間が 30 分(発表 15 分、討論 15 分程度)と長めであるということがあります。この趣旨は 1 つ 1 つの症例について、丁寧にディスカッションをするためとのことです。

Ai 症例には明確な答えがないことが多いため、症例提示で解説をするというよりは各科 Dr. から様々な意見を出し合い、皆で症例について考えるという感じでした。他科ならではの意見も飛び交い、有意義なディスカッションとなっていました。

また、院外死亡の症例提示(いわゆる異状死)では現場状況の写真提示や警察の検証結果なども踏まえてディスカッションを行い、非常に興味深いものでした。